

■ 平成20年度 主要事業等（予算額は目全体で集計している場合、事業全体の場合、具体的な工事費等で集計している場合が混在する。）

番号	重点政策課題	新規	平成20年度 主要事業等		
			事業名等	概要等	予算額
1	生涯安心	○	障害児放課後児童クラブの実施	本格的なクラブを榛原保健センター内に開設し、障害児のふれあい、保護者の就労等を支援する。	3,576
2		○	後期高齢者医療関係	医療制度改革の実施にあたり、事務、健康審査及び保険料減額分の保険期盤安定繰出金の繰り出しを行う。	435,302
3			救急医療対策事業(自動体外式除細動器(AED)の増設)	心筋梗塞などで心肺停止状態の救急措置として、小学校等へ8台配備し、20年度末で21台の設置、当面の5カ年計画の80.8%達成率を確保する。なお、設置費の予算は、それぞれの事業科目へ計上した。	—
4			榛原総合病院負担金(特別財政支援の実施)	地方公営企業法に基づく基準内の負担金のほか、病院経営の悪化に伴う引続きの特別財政支援を実施する。	1,144,558
5	まちの活力		都市交流会の開催	平成19年度の第1回東京交流会実績を踏まえて第2回を計画するとともに、新たに大阪交流会を開催し、ふるさと牧之原の情報発信と関東圏・関西圏在住者との人的交流を深める。	1,310
6			減債基金の積立	大手進出企業の一般寄付金を充当し、将来の起債償還等への財源確保に努める。	750,000
7		○	サテライトキャンパス可能性調査	人材の輩出元となる教育機関誘致の可能性を検討する。	500
8			空港利用推進費	平成21年3月の開港に向けてポートセールス、定期便就航促進活動、開港記念イベントなどに積極的に参画し、開港後の利活用等について調査協議する。	5,918
9		○	勤労者住宅資金利子補給金制度の実施	企業誘致に伴う労働力の増加等を見込み勤労者の定住施策として住宅資金の借入1,000万円を限度に利子の2%分を利子補給する。	2,067
10			山の手幹線(深谷橋の橋台工等の実施)	道路改良延長360m、幅員12mの整備計画のうち、20年度は、深谷橋右岸橋台の設置と旧橋取り壊しを実施する。また、河川水辺環境保護対策等を業務委託する。	103,775
11		○	文化財等の総合調査	勝間田城跡や蛭ヶ谷の田遊びの総合調査を行い、地域環境をを含め過去と現状を記録し、国指定文化財を目指す。	2,390

番号	重点政策課題	新規	平成20年度 主要事業等		
			事業名等	概要等	予算額
12	三 農工両善	○	全国茶サミットの牧之原市開催	安全・安心で高品質な茶生産等を支援し、特に平成20年度は全国規模の大会である全国茶サミット静岡大会in牧之原を開催し、茶産地牧之原市の名声を高める。	10,000
13			企業立地促進事業費補助金	白井工業団地及び中里工業団地に進出する企業に対して、初期投資と雇用に対して補助金を交付する。 企業立地の適地を洗い出し、開発の諸条件等を整理し、誘致活動を推進する。	246,705
		○	企業立地戦略計画策定業務		
14		○	市道 壺丁田北部・大倉壺丁田線新設事業	大手進出企業の拡張に伴う周辺交通緩和策として全長2,700m 幅員9mを平成24年度までの計画のうち、平成20年度は事業用地の取得等を実施する。	300,000
15	四 環境行動		浄化槽補助金制度の改正	特に単独浄化槽から合併浄化槽への更新を促進するため補助金の上乗せを実施するなど制度の見直しを図る。	120,565
16		○	環境基本計画の策定	市の自然環境を保全・復元し、人と自然が共生していく社会を構築するため、市民協働の環境基本計画を策定する。また、エコアクション21の中間審査を委託する。	2,500
17	五 安全なまちづくり	○	同報無線統合卓の整備	エミリス(津波警報システム)に替わる「全国瞬時警報システム(J-ALERT)」に備えて、現在の2つの周波数を同時に操作できる統合卓を整備する。将来のデジタル化に対応できる機器を導入する。	70,000
18	六 子育て徳育		児童福祉施設の耐震化	耐震性能が劣る児童福祉施設において、園児の生命の安全を確保するため、耐震補強工事2園、新築移転2園、耐震補強設計業務4園を実施する。	1,256,907
19		○	外国人児童生徒教育支援事業(バイリンガル相談員等の配置)	細江小学校の国指定の実績を踏まえて、日本語の会話や読み書きが不十分な外国人児童生徒を対象に、バイリンガル相談員及び日本語指導員を配置する。	4,943
20		○	市単独指定研究推進事業(道徳教育の研究指定校制度)	心豊かな牧之原の子の育成を目的に道徳教育の研究指定校制度を実施する。	120